# 玉川上水の現況

❶羽村取水堰

羽村取水堰は固定堰と投渡堰と呼ばれる珍しい堰でできている。投渡堰は、松丸太や木の枝、砂利などで造られ、洪水の時には堰を取り払うことができる。

羽村堰(「上水記」から東京都水道歴史館所蔵)

(「The Hanami」から　小金井市教育委員会所蔵)

❺名勝　小金井（サクラ）

小金井桜は、江戸近郊の桜の名所として広く知られ、様々な紀行文や絵図に描かれている。

❼史跡玉川上水の碑

## 国の史跡指定

平成15年、「文化財保護法」に基づき、国の史跡に指定された。
≪指定理由≫
近世の水利技術を知る上で重要であり、大都市江戸の用水供給施設として貴重な土木遺産である。
≪指定区域≫
羽村取水口から四谷大木戸までの区間のうち開きょ区間

## 東京都の歴史環境保全地域指定

平成11年、「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、歴史環境保全地域に指定された（14年に追加指定）。
≪指定理由≫
高い歴史的価値を持ち、水と緑の自然豊かな憩いの空間である。
≪指定区域≫
羽村取水口から四谷大木戸までの区間のうち開きょ区間

## 国指定名勝「小金井（サクラ）」

大正13年、「史蹟名勝天然紀念物保存法」（文化財保護法の前身）に基づき、名勝に指定された。
≪指定理由≫多様に天然変種したヤマザクラが生育している、本国屈指の景勝地である。
≪指定地域≫※水路の部分は除く。
右岸：小川水衛所傍側から境橋南詰
左岸：小川水衛所対岸から境橋北詰

凡例
- は開渠
- は暗渠
- 導水管
- 主な分水
- ★ 説明板

❷玉川兄弟の像

玉川上水の建設に大きな功績のあった玉川兄弟を永くたたえるため、昭和33(1958)年ゆかりの地である羽村取水堰付近に建てられた。

❸小平監視所

水道原水は、小平監視所から2300mmから2000mmまでの太さの導水管によって東村山浄水場へ送られている。

❹清流復活用水の放流口

下水を高度に処理した再生水を清流復活用水として放流している。

❻名勝小金井櫻の碑

❽境浄水場

境浄水場は、大正13(1924)年から稼働している緩速ろ過方式の浄水場である。原水は、玉川上水と同じ羽村堰で取水し、村山山口貯水池に貯めて、導水している。

『史跡玉川上水整備活用計画』対象区間

❾水道碑記

玉川上水路の終点である四谷大木戸に建てられたもので、玉川上水をつくった理由や苦心などが碑に書かれている。

❿四谷大木戸

(「江戸名所図会」から　東京都公文書館所蔵)

## 〈上流部〉約12km（原水導水路区間）

羽村取水堰から小平監視所までの区間は、現在も水道原水の導水路として使用されている。

■管理部所
水路／水道局東村山浄水管理事務所
両岸／建設局・羽村市・福生市・昭島市・立川市・小平市（公園、道路等）

## 〈中流部〉約18km（清流復活区間）

小平監視所から浅間橋までの区間は、東京都の清流復活事業によって下水の高度処理水が流れている。
この区間では、「史跡玉川上水整備活用計画」に基づく各種施策を関係機関と協働して進めている。

■管理部所
水路／水道局東村山浄水管理事務所（環境局からの受託事業）
両岸／建設局・小平市・小金井市・武蔵野市・三鷹市・杉並区（緑道、歩道等）　※「名勝 小金井（サクラ）」は教育庁

## 〈下流部〉約13km（排水路区間）

浅間橋から四谷大木戸までの区間は、多くが暗きょとなっており、堀の上は高速道路や公園、遊歩道などに利用されている。

■管理部所
水路／水道局東村山浄水管理事務所
両岸／建設局・杉並区・世田谷区・渋谷区・新宿区（公園、道路等）

海抜約126m　約43km（羽村から四谷大木戸間）　海抜約34m